

I. アジアの拠点都市を目指し福岡の活力を高める

JAPAN EXPO IN THAILAND 2017

9/1～3

福岡アジアファッション拠点推進会議(会長＝礒山会頭)は、バンコクで開催された「JAPAN EXPO IN THAILAND 2017」においてブースを出展。開催期間中、会場には約97,000人が訪れた。

出展ブースでは、会場に訪れたバイヤーや地元的一般客を対象に、展示商談会やパンフレット配布等による福岡アジアコレクション(FACo) やファッションウィーク福岡(FWF)、福岡県の観光PRを実施。また、初日に行われたBNK48出演ステージにおいて、約3,000の観客の前でFACo2017のランウェイの映像放映や来年3月に開催するFACo2018のPRのほか、福岡県の魅力PRを行った。

来場者からは「自然・歴史を体感できる観光をしたい」「福岡でショッピングしてみたい」といった声が聞かれた。



▲福岡県の魅力をPRするBNK48



▲出展ブースでのPRの様子

観光・飲食部会、集客・交流委員会共催講演会「福岡とMICE」

9/6

当所観光・飲食部会(部会長＝粥川昌洋・㈱極東フーズコーポレーション代表取締役社長)と集客・交流委員会(委員長＝水嶋修三・㈱ホテルオークラ福岡代表取締役社長)は、共催で講演会「福岡とMICE ～選ばれる都市～」を開催。135名が参加した。

当日は、福岡市MICEアンバサダーの船山龍二氏が講師として、福岡市におけるMICE誘致の現状や今後の展望、MICE開催都市に選ばれるためのヒント等について述べた。



▲船山氏の講演に熱心に耳を傾ける参加者

II. 地域を支える商工業者の持続・成長に向けた取り組み

会社合同説明会

8/22

当所は、今年度3回目となる「会社合同説明会」をアクロス福岡で開催。2018年3月卒業予定の学生を中心に250名が来場した。

本説明会は、地元中小企業の人材確保と地域における就業促進を目的に毎年開催している。今回は福岡市内の企業を中心に66社が出展した。採用担当者からは、「個別説明会に参加した学生を数名確保できた」といった声が聞かれた。

新規学卒者の採用活動は学生優位の状況が続いており、企業にとっては「採用氷河期」の様相を呈している。出展企業のアンケートでは、「内定辞退が続出しており、内定者のフォローが課題である」「自社が求職者に認知されておらず、募集に苦戦している」といった声が聞かれ、採用活動に苦慮している現状が伺えた。



▲出展企業の説明に熱心に耳を傾ける学生たち

ジョブ・カード制度普及促進フェア

8/24

当所が厚生労働省の委託を受け運営する「福岡県地域ジョブ・カードセンター」は、助成金を活用した雇用型人材育成『ジョブ・カード制度』の理解・普及を目的に、ジョブ・カード制度普及促進フェアを開催。54名が参加した。

当日は、福岡労働局の担当者を講師に迎え、キャリアアップ助成金と人材開発支援助成金について紹介いただくと共に、福岡県地域ジョブ・カードセンター担当者より、本制度を活用した雇用型訓練の概要と導入のメリット等について説明した。フェア終了後には個別相談会を実施。多数の参加者が来場し、人材育成の取り組みへの関心の高さが伺えた。



▲担当官の話に真剣に耳を傾ける参加者たち

インバウンド対策特別セミナー

8/29

福岡県商工会議所連合会(会長＝礒山会頭)は、福岡市及び(株)ぐるなびと共催で「インバウンド対策特別セミナー」を開催。48名が参加した。

当セミナーは、福岡市内の飲食店等を対象に、「食」を通したインバウンドの取込み支援として開催。第一部では、独自の工夫を凝らして多くのインバウンド客をキャッチし、売り上げを120%伸ばした、(株)寿幸の門田桂太郎氏を講師に迎え、インバウンド対策について講演。門田氏は、多言語の看板やメニュー、中国を中心に世界で普及しているWeChat決済機能サービスの設置など、経験から得られた具体的なノウハウを説明された。参加者からは「自店舗でも取り組める具体的な対策が聞けた」との声があり好評を得た。



▲外国人観光客の取込みについて説明する門田氏

新輸出大国コンソーシアム事業活用セミナー

9/5

当所は、ジェトロ福岡と共催で「福岡県企業の実例に学ぶ 新輸出大国コンソーシアム事業活用セミナー」を開催。66名が参加した。

セミナーでは、開始して1年が経過した新輸出大国コンソーシアム事業について、具体的な支援内容を紹介。加えて、実際に地域支援機関や専門家の個別支援等を活用して、海外展開に取り組んだ県内企業の成功事例を発表した。



▲県内企業の成果発表に熱心に耳を傾ける参加者

学校と企業との就職情報交流会

9/7

当所は、「学校と企業との就職情報交流会」を開催。40校の大学等の就職課担当職員と、76社の採用担当者が参加した。

本事業は、学生との接点が少ない中小企業を対象に、学校との人脈形成や情報交換を目的に実施しているもの。8回目となる今回は、従来の対面形式による情報交換会に加え、学校と企業が自由に交流するための立食交流会も実施し、活発な情報交換が行われた。



▲採用活動の現状や求人内容について説明する参加者

III. 信頼される福岡商工会議所(基盤の強化)

広報担当者交流会

9/13

当所は、平成29年度広報担当者交流会を開催し、57社70名が参加した。

当交流会は、企業イメージの構築やリスクマネジメントなど、企業にとって重要な役割を担う広報担当者を対象に情報交換や人脈拡大等の機会を提供するために、今年度新たに企画したもの。

第1部では、明倫国際法律事務所 代表弁護士 田中雅敏氏より、「知らないと怖い、広告・広報の落とし穴」をテーマに広告法務とコンプライアンスについて講演いただいた。第2部の交流会では、各参加者が活発に名刺交換を行い、業務に関する情報交換等、活気ある交流が行われた。参加者からは、「業務に関する他社の取組みを聞くことができた」「異業種の企業との情報交換が有意義だった」等の声が聞かれた。



▲活気溢れる交流会の様子

会 議 等

女性会（新会員との懇談会）

8/26

福岡商工会議所女性会(会長＝西川ともゑ・副会頭)は、博多石焼大阪屋で新会員との懇談会を開催。27名が出席した。

同懇談会は、昨年10月以降に入会した7名の新会員を迎え、懇親を深める目的で開催。女性会オリジナルカードによる啓蒙活動をはじめ、諸活動等の説明のほか、新会員による自己紹介を兼ねた会社PRを行い、新会員を中心に活発な交流が行われた。



▲挨拶を述べる西川会長

女性会9月例会

9/13

福岡商工会議所女性会は、学校法人立花学園立花高等学校校長の齊藤真人氏を講師に迎え、『「いいんだよ」は、魔法の言葉』をテーマに9月例会を開催。44名が参加した。

講演会で齊藤氏は、子供はもちろん社員に対しても、「共感的理解(できないことを嘆くよりできていることを認める)」の大切さを、自身の体験等を交えて述べた。終了後には、理事会報告、2名の会員PRが行われた。



▲“共感的理解”について説明する齊藤氏

1号議員立候補の届出受付開始

9/22

当所は、選挙管理委員会の田中治雄委員長(㈱左衛門相談役)の宣言をもって、1号議員立候補届出の受付を開始し、9月25日午後5時現在で18社が届け出た。

受付期間は9月22日(金)午前9時から10月3日(火)午後5時まで。



▲1号議員の立候補の受付を宣言する田中委員長